



2020年度（2021年3月期）
第2四半期決算説明会

2020年10月29日

[2020年11月5日一部訂正版]



01

2020年度 第2四半期決算実績概要

2020年度2Q実績（連結）（2020.4.1 – 2020.9.30）

対前年同期実績

3

ポイント 減収増益

(+/-▲は利益に対する影響を示す, 億円)

売上高	▲824	新型コロナ影響等による都市ガス販売量減、原料費調整に伴う都市ガス単価減等。
営業費用	+879	新型コロナ影響等による都市ガス販売量減、原油価格下落の影響等。
営業利益	+55	電力小売販売量増(件数増・在宅時間増)、固定費減による粗利増等。
特別損益	+1	当期 ▲75 : (特別損失)減損損失▲64、投資有価証券評価損▲40、(特別利益)負ののれん発生益29 前期 ▲76 : (特別損失)減損損失▲76

(単位: 億円)

	2020年度2Q	2019年度2Q	増減	%
都市ガス販売量 (百万m ³ , 45MJ)	5,569	6,707	▲1,138	▲17.0%
電力販売量 (百万kWh)	11,801	9,109	2,692	29.6%
内訳				
小売 (百万kWh、需要端)	4,885	3,806	1,079	28.4%
卸他 (百万kWh)	6,917	5,303	1,614	30.4%
売上高	8,280	9,104	▲824	▲9.1%
営業費用	7,764	8,643	▲879	▲10.2%
営業利益	516	461	55	11.9%
セグメント利益 (営業利益 + 持分法損益)	513	494	19	3.9%
経常利益 …①	497	483	14	2.9%
特別損益	▲75	▲76	1	—
親会社株主に帰属する当期純利益	293	283	10	3.5%
気温影響 …②	2	3	▲1	—
補正項目				
スライドタイムラグ …③ (都市ガス+LNG販売)	84 (64+20)	26 (13+13)	58 (51+7)	—
年金数理差異償却額 …④	4	▲38	42	—
補正経常利益 …①- (②+③+④)	407	492	▲85	▲17.3%

経済フレーム	2020年度2Q	2019年度2Q
為替レート(¥/\$)	106.93 (▲1.67)	108.60
原油価格(\$/bbl)	36.45 (▲32.42)	68.87
平均気温 (°C)	21.3 (0.2)	21.1

年金	2020年度2Q
運用利回り ※コスト控除後	3.46%
期末資産 (億円)	2,640

<期待運用収益率: 2%>

2020年度2Q実績（連結）ガス販売量・件数

対前年同期実績

4

都市ガス販売量

▲1,138百万m³
(▲17.0%)の減少

うち気温影響
+10百万m³、+0.1%の増加

(単位：百万m³)

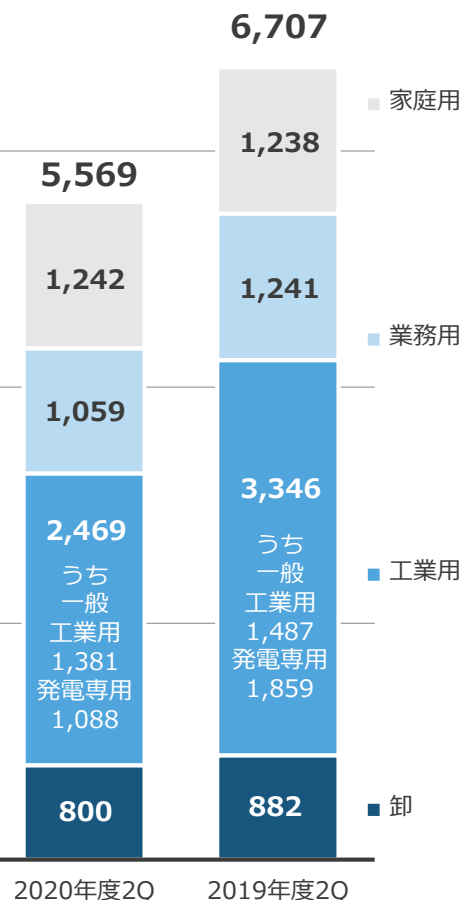
8,000

6,000

4,000

2,000

0



※各項目は四捨五入して表示

件数、LNG販売量、平均気温

	2020年度 2Q実績	2019年度 2Q実績	増減
小売お客さま件数 (万件) ※1	897.5	940.5	▲43.0 (▲4.6%)
取付メーター数 (万件) ※2	1,200.5	1,186.8	+13.7 (+1.2%)
LNG販売量 (千t)	513	552	▲39 (▲6.9%)
平均気温 (℃)	21.3	21.1	+0.2

※1 ガス小売事業者としてのガス料金請求対象件数（過去の推移はP.25参照）

※2 休止中・閉栓中・他社小売分を含む導管事業者としてのメーター取付数

販売・自家使用量 (百万m³)

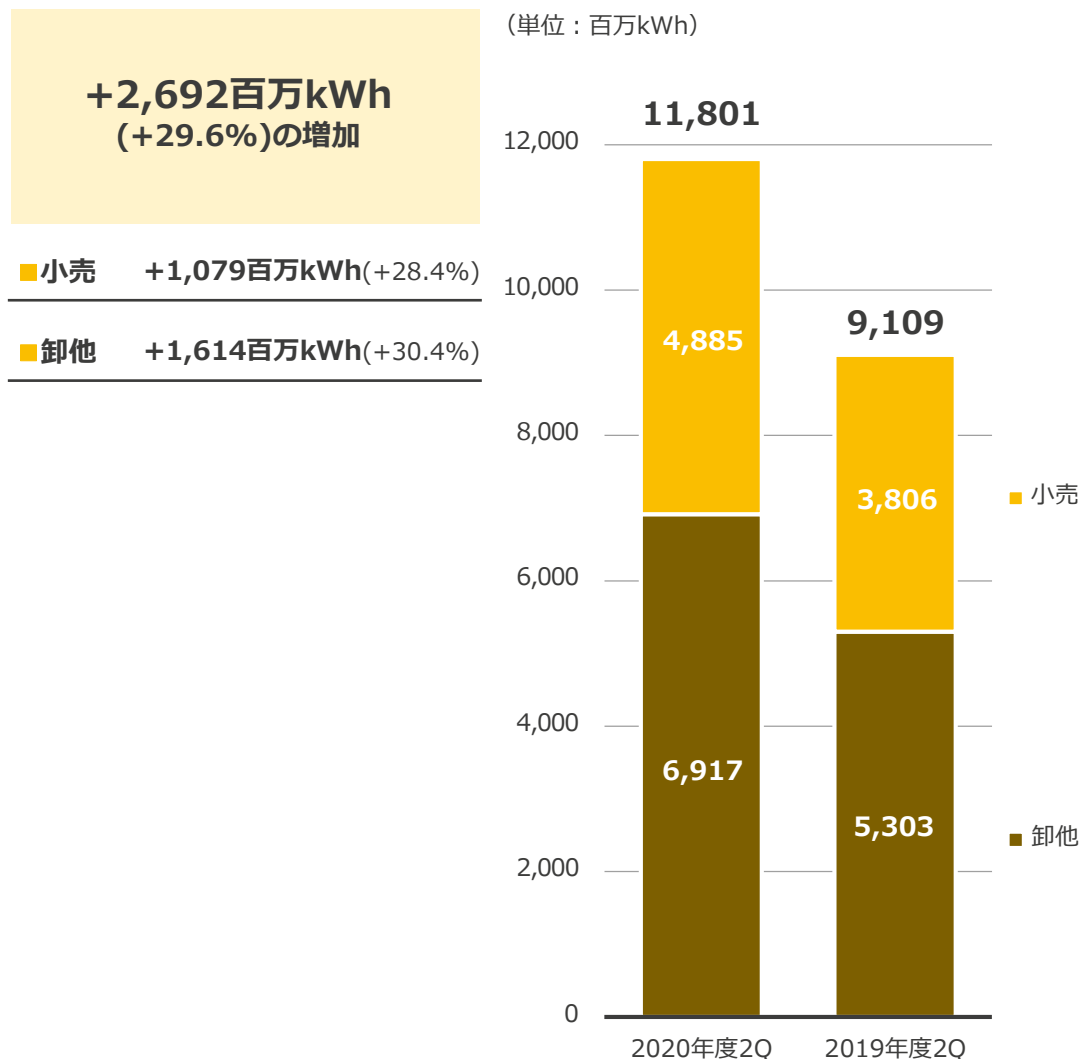
	2020年度 2Q実績	2019年度 2Q実績	増減
都市ガス販売量	5,569	6,707	▲1,138 (▲17.0%)
トーリングによる ガス自家使用量	1,536	890	+646 (+72.5%)
LNG販売量 (m ³ 換算)	642	689	▲47 (▲6.9%)
合計	7,747	8,286	▲539 (▲6.5%)

2020年度2Q実績（連結）電力販売量・件数

対前年同期実績



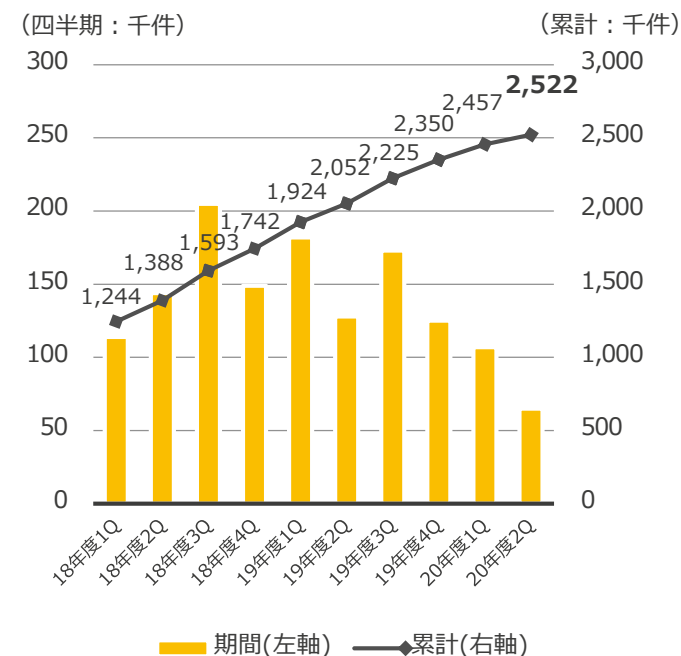
電力販売量



※各項目は四捨五入して表示

小売件数実績

※小売件数＝電力料金請求対象件数



「キャンペーン」実施期間

2019年度

春：
2019/5/2～2019/5/31
夏：
2019/6/17～2019/10/8
秋：
2019/10/15～2019/12/23
冬：
2020/1/6～2020/4/30

2020年度

夏：
2020/6/2～2020/7/20
2020/7/30～2020/10/26

2020年度2Q実績（セグメント別）売上高・利益

対前年同期実績

6

（単位：億円）

	売上高				セグメント利益（営業利益+持分法損益）			
	2020年度 2Q実績	2019年度 2Q実績	増減	%	2020年度 2Q実績	2019年度 2Q実績	増減	%
ガス	5,440	6,396	▲956	▲14.9	478	471	7	1.6
（都市ガス）	4,521	5,456	▲935	▲17.1	479	443	36	8.2
（LNG販売）	759	741	18	2.4	0	30	▲30	▲100.1
電力	1,955	1,646	309	18.8	131	49	82	165.9
海外	191	207	▲16	▲7.4	17	70	▲53	▲75.5
（持分法損益）	—	—	—	—	▲7	29	▲36	—
エネルギー関連	1,541	1,623	▲82	▲5.1	57	62	▲5	▲9.1
（エンジニアリングソリューション）	636	625	11	1.6	21	13	8	52.3
不動産（持分法損益含む）	229	221	8	3.7	42	55	▲13	▲23.1
その他（持分法損益含む）	524	564	▲40	▲7.1	15	25	▲10	▲39.1
調整額	▲1,602	▲1,554	▲48	—	▲228	▲239	11	—
セグメント合計額	8,280	9,104	▲824	▲9.1	513	494	19	3.9
（持分法損益）	—	—	—	—	▲2	32	▲34	—

〔注〕・セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。

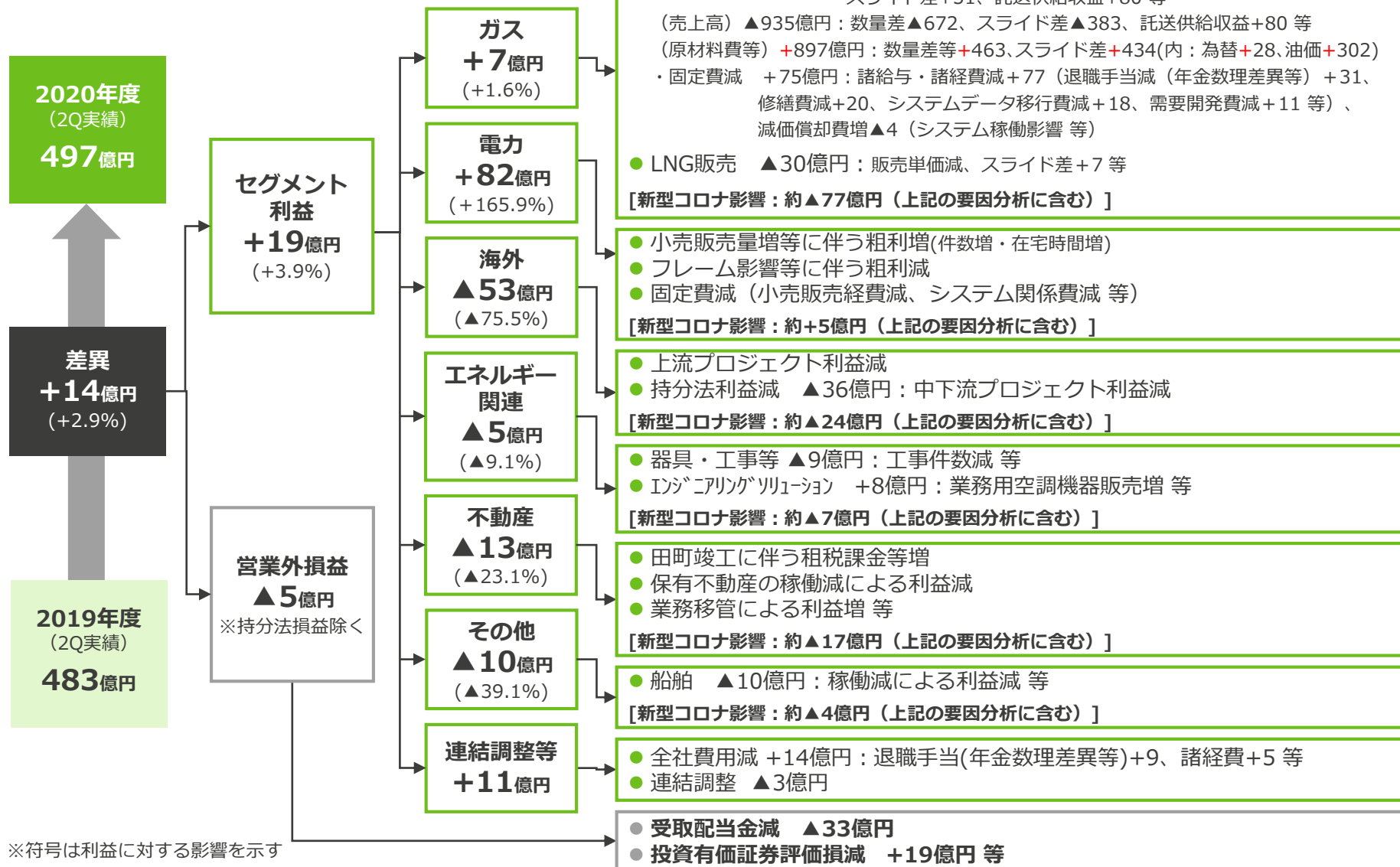
- ・「ガス」には、都市ガス、液化石油ガス、産業ガス、LNG販売、トレーディングを含みます。「エネルギー関連」には、エンジニアリングソリューション、ガス器具、ガス工事、建設、クレジット等を含みます。「その他」には、情報処理サービス、船舶等を含みます。
- ・セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。

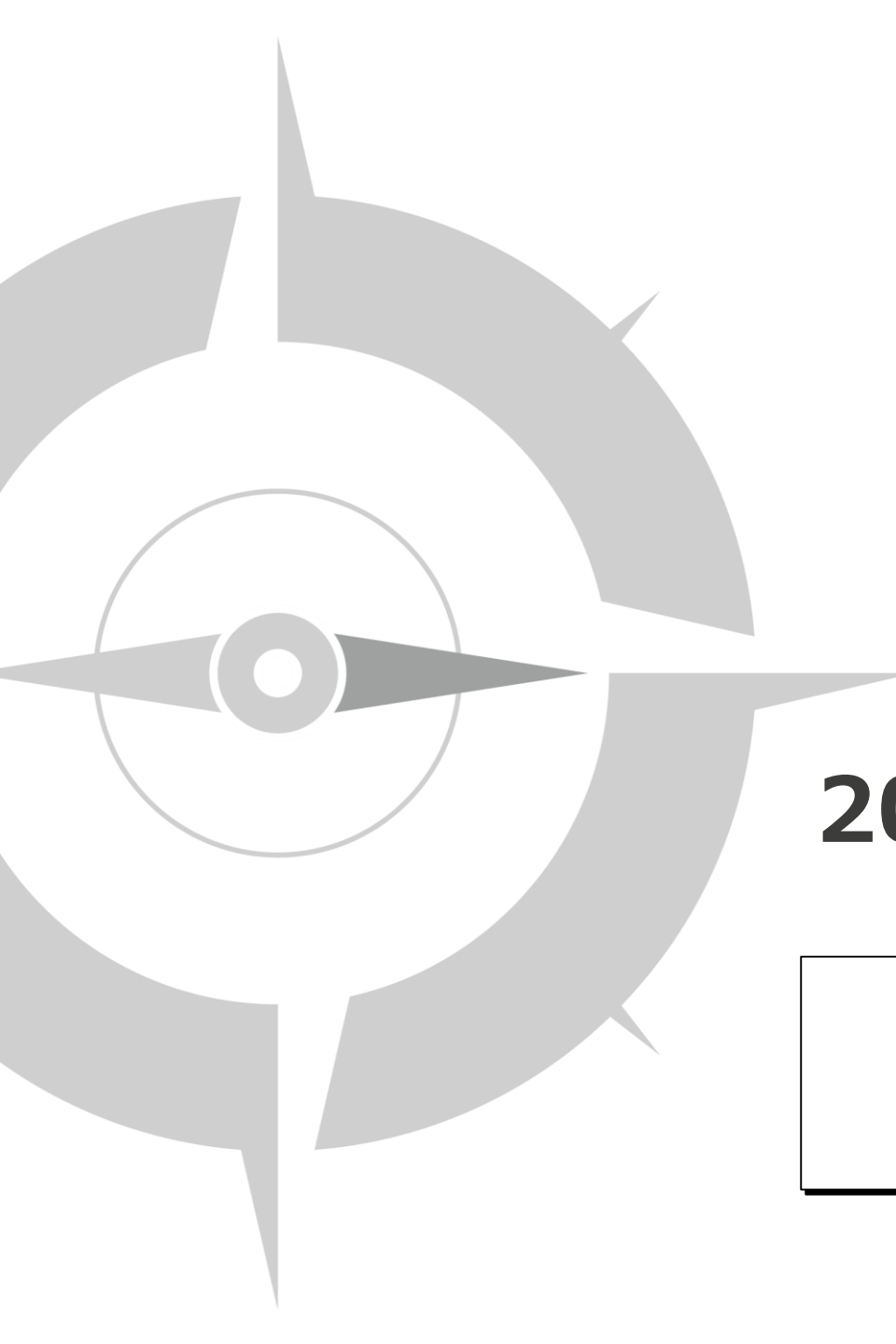
2020年度2Q実績 経常利益分析

対前年同期実績



赤字を2020年11月5日訂正





02

2020年度通期見通し

前回見通し(2020年7月29日時点)では
セグメント利益のみを公表

2020年度見通し（連結）（2020.4.1 – 2021.3.31）

9

ポイント 増益_(※)(セグメント利益、対前回見通し)

(+/▲は利益に対する影響を示す、億円)

(※)2020年11月2日訂正

赤字を2020年11月5日訂正

	対前回 見通し		対前年度	
売上高	—	—	▲1,512	原料費調整に伴う都市ガス単価減、新型コロナ影響等による都市ガス販売量減等。
営業費用	—	—	+1,367	原油価格下落の影響、新型コロナ影響等による都市ガス販売量減等。
セグメント利益	+129	都市ガス販売量増、電力販売量増による粗利増等。	▲188	原油価格下落に伴う海外上流プロジェクトの利益減、 新型コロナ影響等による都市ガス販売量減等による粗利減等。
特別損益	—	—	+333	見通し ▲18：(特別損失)減損損失、投資有価証券評価損 (特別利益) 負ののれん発生益、資産売却益 前期 ▲351：(特別損失)減損損失、投資有価証券評価損、(特別利益)契約精算益

(単位：億円)

	見通し	前回 見通し	増減	%	前年度 実績	増減	%
都市ガス販売量 (百万m ³ , 45MJ)	12,570	—	—	—	13,855	▲1,285	▲9.3%
電力販売量 (百万kWh)	24,146	—	—	—	20,604	3,542	17.2%
小売 内訳 (百万kWh、需要端)	10,484	—	—	—	8,522	1,962	23.0%
卸他 (百万kWh)	13,662	—	—	—	12,082	1,580	13.1%
売上高	17,740	—	—	—	19,252	▲1,512	▲7.9%
営業費用	16,870	—	—	—	18,237	▲1,367	▲7.5%
営業利益	870	730	140	19.2%	1,015	▲145	▲14.3%
セグメント利益 (営業利益+持分法損益)	879	750	129	17.2%	1,067	▲188	▲17.6%
経常利益 …①	800	—	—	—	1,027	▲227	▲22.1%
特別損益	▲18	—	—	—	▲351	333	—
親会社株主に帰属する当期純利益	560	—	—	—	433	127	29.1%
気温影響 …②	2	—	—	—	▲98	100	—
補正項目 スライドタイムラグ …③ (都市ガス+LNG販売)	▲3 (▲13+10)	—	—	—	13 (0+13)	▲16 (▲13+▲3)	—
年金数理差異償却額 …④	8	—	—	—	▲76	84	—
補正経常利益 …①- (②+③+④)	793	—	—	—	1,188	▲395	▲33.2%

経済フレーム	見通し	前年度実績
為替レート(¥/\$)	108.46 (▲0.25)	108.71
原油価格(\$/bbl)	40.34 (▲27.45)	67.79
平均気温 (°C)	16.1 (▲0.6)	16.7

*3Q以降：原油価格45.00 \$/bbl、為替レート110円/\$

年金	2019 年度	2018 年度	2017 年度
運用利回り ※コスト控除後	0.33%	1.65%	1.03%
割引率			
年金分	0.264%	0.156%	0.293%
一時金分	0.012%	0.000%	0.046%
期末資産 (億円)	2,590	2,670	2,710

<期待運用収益率：2%>

都市ガス販売量

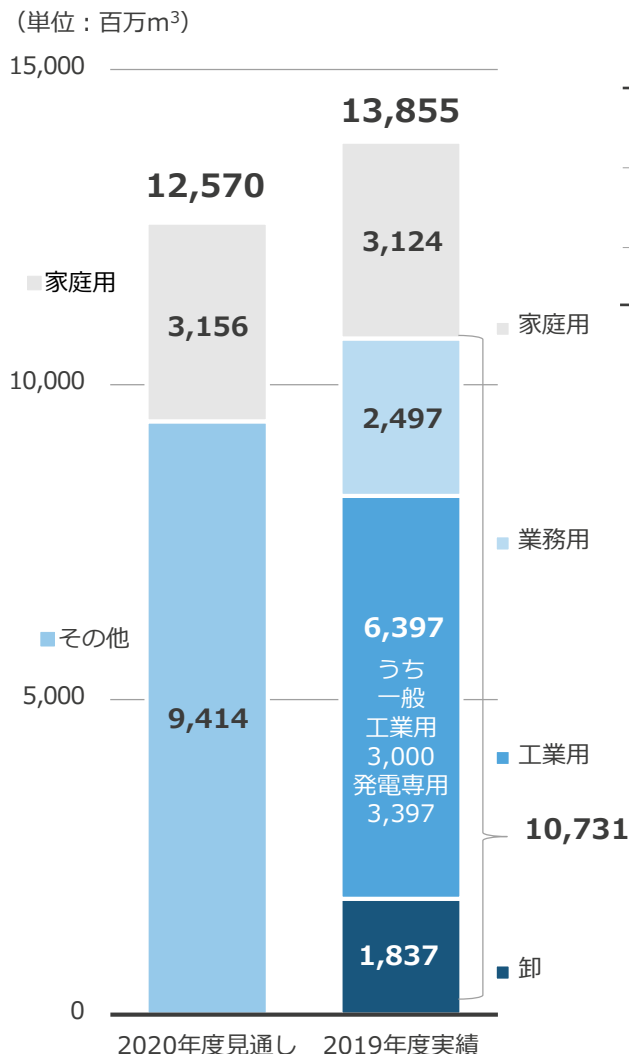
対前回見通し

前回見通し(2020年7月29日時点)
では、都市ガス販売量・件数等は未公表

対前年実績

▲1,285百万m³
(▲9.3%)の減少
うち気温影響
+196百万m³、+1.4%の増加

■ 家庭用	+32百万m ³ (+1.0%)
■ その他	▲1,317百万m ³ (▲12.3%)



※各項目は四捨五入して表示

件数、LNG販売量、平均気温

	見通し	前回見通し	増減	前年度実績	増減
取付メーター数(万件) ※1	1,207.5	—	—	1,195.4	+12.1 (+1.0%)
LNG販売量(千t)	1,056	—	—	1,183	▲127 (▲10.7%)
平均気温(℃)	16.1	—	—	16.7	▲0.6

※1 休止中・閉栓中・他社小売分を含む導管事業者としてのメーター取付数

販売・自家使用量 (百万m³)

	見通し	前回見通し	増減	前年度実績	増減
都市ガス販売量	12,570	—	—	13,855	▲1,285 (▲9.3%)
トーリングによるガス自家使用量	3,155	—	—	2,333	+822 (+35.3%)
LNG販売量(m ³ 換算)	1,321	—	—	1,479	▲158 (▲10.7%)
合計	17,046	—	—	17,666	▲620 (▲3.5%)

電力販売量

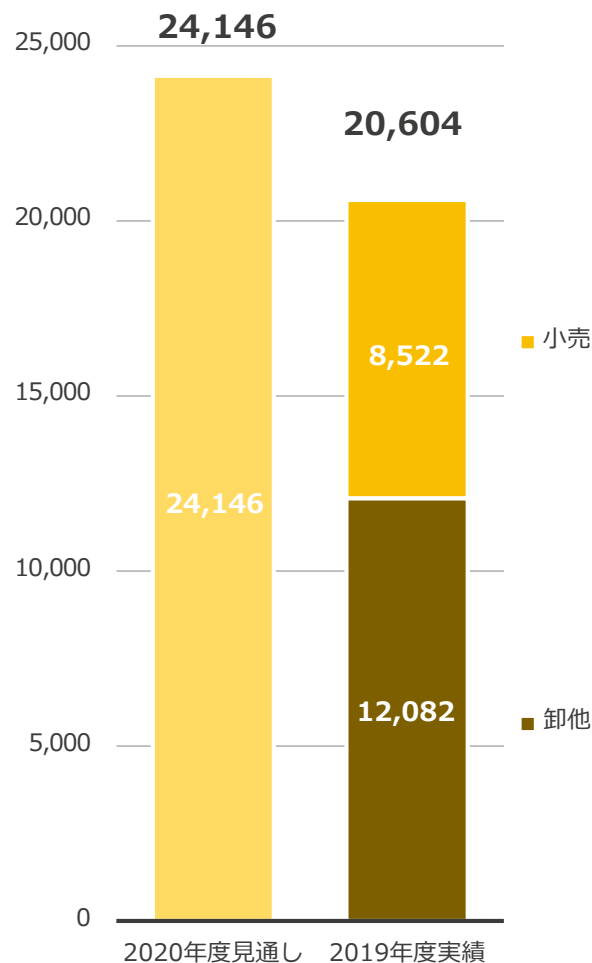
対前回見通し

前回見通し(2020年7月29日時点)
では、電力販売量・件数等は未公表

対前年実績

+3,542百万kWh
(+17.2%)の増加

(単位：百万kWh)

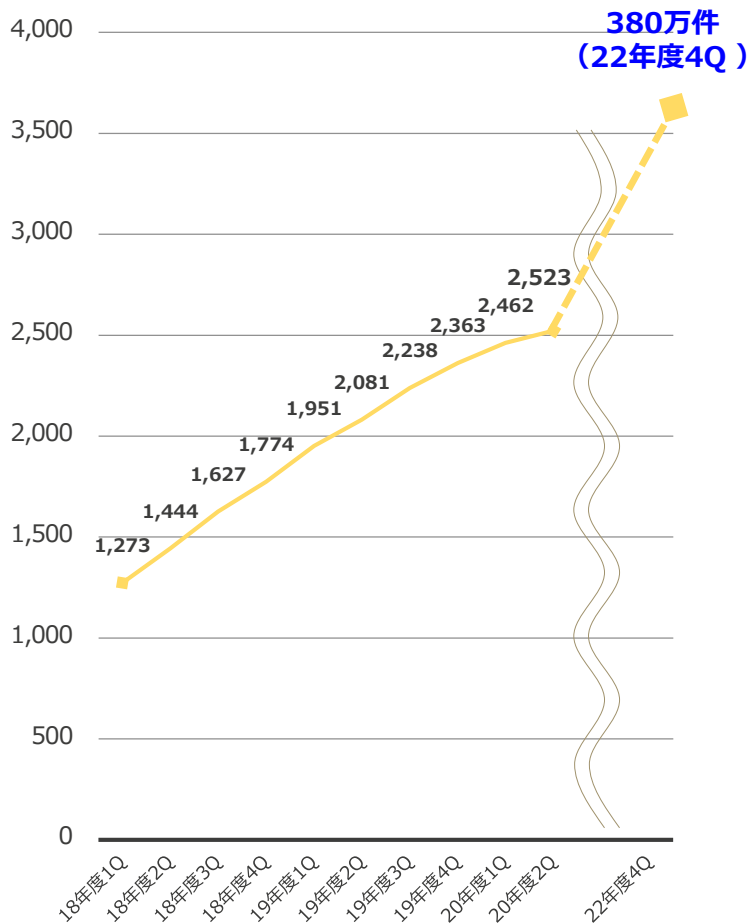


※各項目は四捨五入して表示

小売件数

※小売件数 = 供給中件数

(累計：千件)



2020年度見通し（セグメント別）売上高・利益

対前回見通し

12

（単位：億円）

	売上高				セグメント利益（営業利益+持分法損益）			
	見通し	前回見通し	増減	%	見通し	前回見通し	増減	%
ガス	11,321	—	—	—	962	885	77	8.7
（都市ガス）	9,540	—	—	—	963	—	—	—
（LNG販売）	1,347	—	—	—	▲6	—	—	—
電力	3,884	—	—	—	156	136	20	14.7
海外	496	—	—	—	35	24	11	45.8
（持分法損益）	—	—	—	—	3	—	—	—
エネルギー関連	3,391	—	—	—	145	132	13	9.8
（エンジニアリングソリューション）	1,423	—	—	—	47	—	—	—
不動産（持分法損益含む）	485	—	—	—	58	56	2	3.6
その他（持分法損益含む）	1,123	—	—	—	16	13	3	23.1
調整額	▲2,961	—	—	—	▲494	▲496	2	—
セグメント合計額	17,740	—	—	—	879	750	129	17.2
（持分法損益）	—	—	—	—	8	20	▲12	▲55.6

〔注〕・セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。

- ・「ガス」には、都市ガス、液化石油ガス、産業ガス、LNG販売、トレーディングを含みます。「エネルギー関連」には、エンジニアリングソリューション、ガス器具、ガス工事、建設、クレジット等を含みます。「その他」には、情報処理サービス、船舶等を含みます。
- ・セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。

2020年度見通し セグメント利益分析

対前回見通し

13



※前回見通し(2020年7月29日時点)ではセグメント利益のみを公表したため、本シートではセグメント利益分析を開示

※符号は利益に対する影響を示す

(+/▲は利益に対する増減)

項目	主な内容	1Q時点見通し 影響額(※1)	2Q時点見通し 影響額(※2)
スライド等	(+) スライドタイムラグ (+) 都市ガス気温影響 (+) 年金数値差異	+ 220億円程度	+ 170億円程度
コスト改革	(+) 諸経費効率化	+ 100億円程度	+ 100億円程度
一過性費用	(▲) 基幹システムの稼働に伴うデータ移行費 (▲) 老朽化資産除却費 等	▲ 110億円程度	▲ 110億円程度
その他利益 増減	(+) 電力小売販売量増 (▲) ガス需要脱落による販売量減 (▲) 減価償却費増 (▲) 切り拓き費用増 (DX関係費用等) (▲) 海外プロジェクト利益減 等	▲ 220億円程度	▲ 120億円程度
新型コロナ 影響(※3)	(▲) ガス販売量減 (▲) LNG需給調整費用 (▲) ガス以外のセグメント利益減 (器具・受工・ホテル等) (+) 新型コロナ影響に伴う諸経費執行見送り・抑制等 (+) 在宅時間増加による小売電力販売量増 等	▲ 300億円程度	▲ 220億円程度

(※1) 7月以降の経済フレーム：原油価格45\$/bbl、為替レート110円/\$。

(※2) 10月以降の経済フレーム：原油価格45\$/bbl、為替レート110円/\$。

(※3) 新型コロナ影響は現時点での想定にもとづく推計であり、今後大きく変動する可能性があります。

2020年度見通し（セグメント別）売上高・利益

対前年度実績

15

（単位：億円）

	売上高				セグメント利益（営業利益+持分法損益）			
	見通し	前年度実績	増減	%	見通し	前年度実績	増減	%
ガス	11,321	13,554	▲2,233	▲16.5	962	1,024	▲62	▲6.1
（都市ガス）	9,540	11,428	▲1,888	▲16.5	963	978	▲15	▲1.6
（LNG販売）	1,347	1,699	▲352	▲20.7	▲6	39	▲45	▲115.8
電力	3,884	3,586	298	8.3	156	101	55	53.8
海外	496	439	57	12.8	35	132	▲97	▲73.6
（持分法損益）	—	—	—	—	3	46	▲43	▲93.5
エネルギー関連	3,391	3,519	▲128	▲3.6	145	169	▲24	▲14.7
（エンジニアリングソリューション）	1,423	1,394	29	2.1	47	58	▲11	▲19.0
不動産（持分法損益含む）	485	445	40	8.9	58	96	▲38	▲40.2
その他（持分法損益含む）	1,123	1,232	▲109	▲8.9	16	57	▲41	▲72.3
調整額	▲2,961	▲3,524	563	—	▲494	▲515	21	—
セグメント合計額	17,740	19,252	▲1,512	▲7.9	879	1,067	▲188	▲17.6
（持分法損益）	—	—	—	—	8	52	▲44	▲82.8

〔注〕・セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。

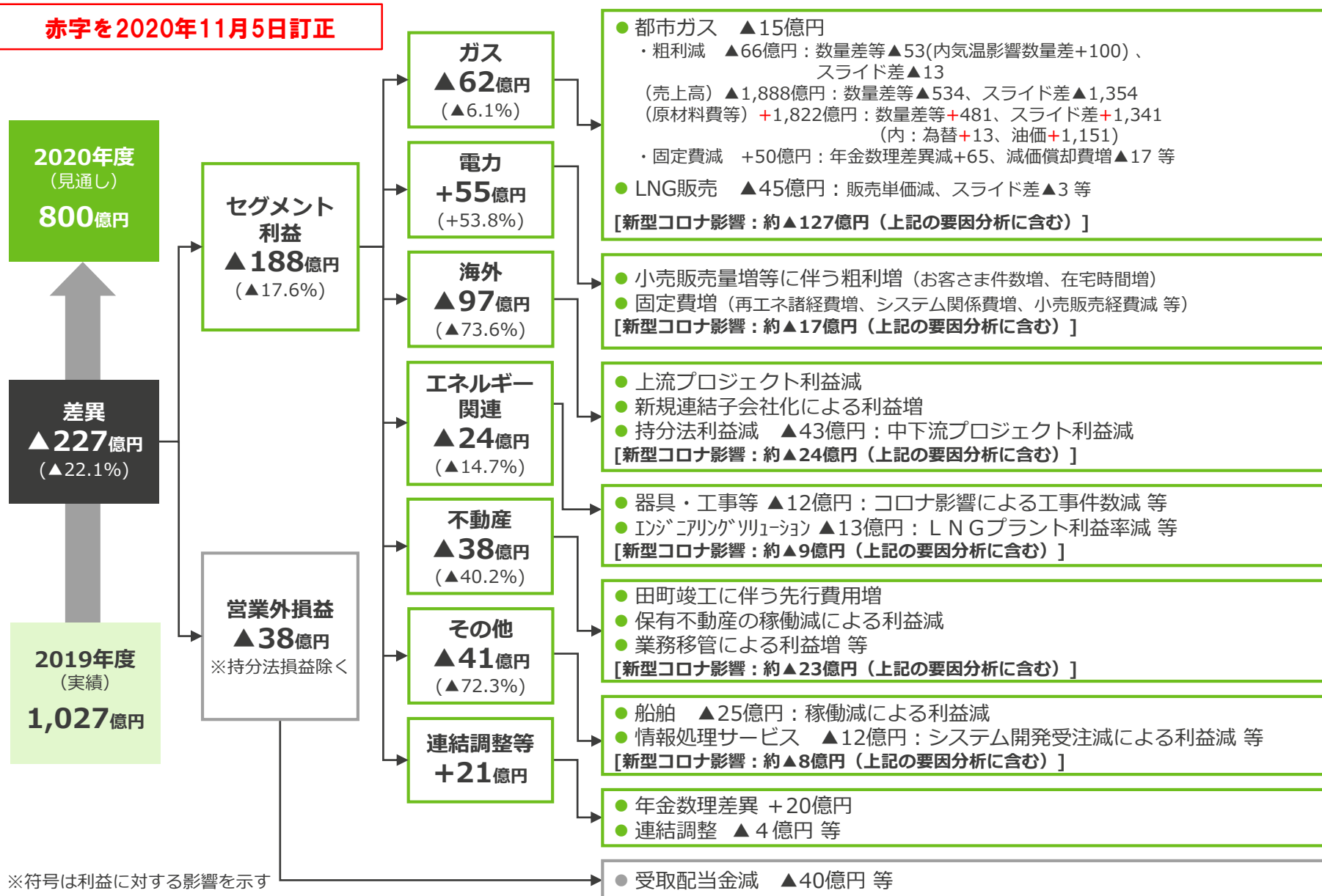
- ・「ガス」には、都市ガス、液化石油ガス、産業ガス、LNG販売、トレーディングを含みます。「エネルギー関連」には、エンジニアリングソリューション、ガス器具、ガス工事、建設、クレジット等を含みます。「その他」には、情報処理サービス、船舶等を含みます。
- ・セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。

2020年度見通し 経常利益分析

対前年度実績

16

赤字を2020年11月5日訂正



※符号は利益に対する影響を示す

2020年度見通し（連結）キャッシュ・フローの使途（設備投資と投融資）

17

（単位：億円）

	見通し	主な件名	前回 見通し	増減	%	前年度 実績	増減	%
設備投資	ガス	1,816 製造設備 185（+ 84） : 日立LNG基地拡張 等 供給設備 980（▲126） : 茨城幹線建設、需要開発 等 業務設備等 651（+195） : システム関連 等	—	—	—	1,663	153	9.2
	電力	166 国内再エネ 等	—	—	—	23	143	613.5
	海外	607 上流（豪州・北米）、海外再エネ 等	—	—	—	90	517	517.9
	エネルギー関連	220 TGESエネルギーサービス事業 等	—	—	—	175	45	25.5
	不動産	300 田町 等	—	—	—	337	▲37	▲11.1
	その他	49	—	—	—	27	22	78.5
	調整額	▲61	—	—	—	▲48	▲13	—
	計	3,100	—	—	—	2,270	830	36.5
投融資（回収含まず）	ガス	0	—	—	—	0	0	—
	電力	396 国内再エネ 等	—	—	—	203	193	95.3
	海外	317 上流（豪州）、中下流（北米・アジア）、海外再エネ 等	—	—	—	293	24	8.3
	エネルギー関連	106 TGESエンジニアリング事業 等	—	—	—	97	9	9.0
	不動産	3	—	—	—	0	3	—
	その他（無件名含む）	583	—	—	—	4	579	—
	計	1,407	—	—	—	598	809	135.3
	設備投資・投融資（回収含まず）合計	4,507	—	—	—	2,868	1,639	57.1
	回収 計	28	—	—	—	72	▲44	▲61.2
	設備投資・投融資（相殺後）合計	4,478	—	—	—	2,795	1,683	60.2

主要計数表（連結）

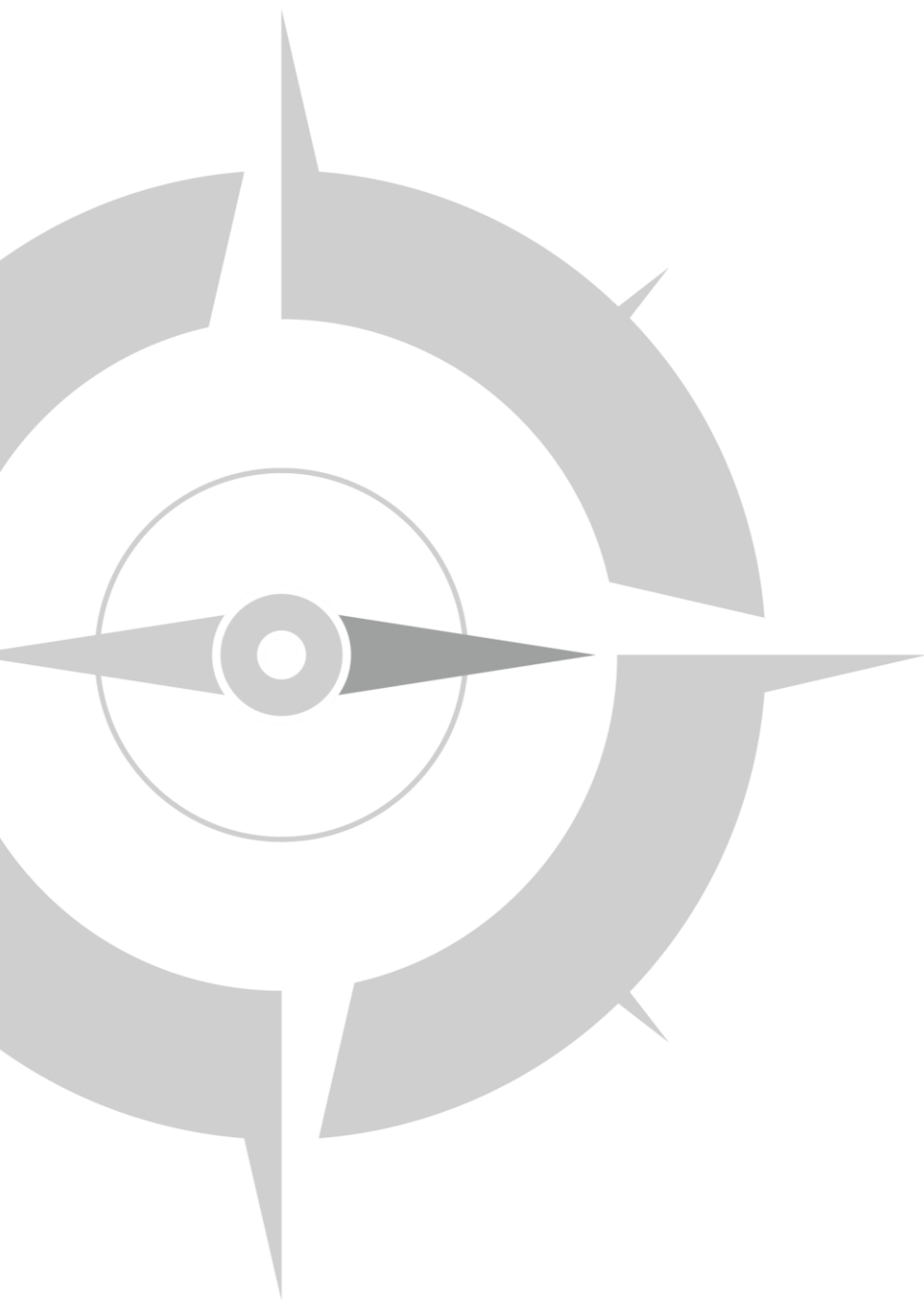
18

(単位: 億円)

	2020年度見通し	2019年度実績	2018年度実績
総資産(a)	28,270	25,377	24,281
自己資本(b)	11,610	11,478	11,590
自己資本比率(b)/(a)	41.1%	45.2%	47.7%
有利子負債(c)	11,620	9,050	8,032
D/Eレシオ(c)/(b)	1.00	0.79	0.69
親会社株主に帰属する当期純利益(d)	560	433	845
1株当たり当期純利益 (円/株)	126.98	98.07	187.60
減価償却(e)	1,830	1,696	1,618
営業キャッシュ・フロー(d)+(e)	2,390	2,130	2,464
投資	設備投資	2,270	2,237
	投融資（回収含まず）	598	336
計	4,507	2,868	2,574
ROA (d)/(a)	2.1%	1.7%	3.6%
ROE (d)/(b)	4.9%	3.8%	7.4%
WACC	2.5%	2.7%	3.0%
総分配性向	—	61.0%	60.3%

注: 自己資本 = 純資産 - 非支配株主持分
 ROA = 純利益/総資産 (期首・期末平均)
 ROE = 純利益/自己資本 (期首・期末平均)
 BS関連数値は各期末時点の数値
 営業キャッシュフロー = 純利益 + 減価償却 (長期前払費用償却含む)
 総分配性向 = [N年度の配当 + (N+1)年度の自社株取得] / N年度の連結純利益

■ WACC算定諸元(2020年度見通し)
 a)有利子負債コスト 実績金利0.66%(税引後)
 b)株主資本コスト率
 c)リスクフリーレート 10年国債利回 0.02%
 d)マーケットリスクプレミアム 5.5% β値 0.75



03



参考資料

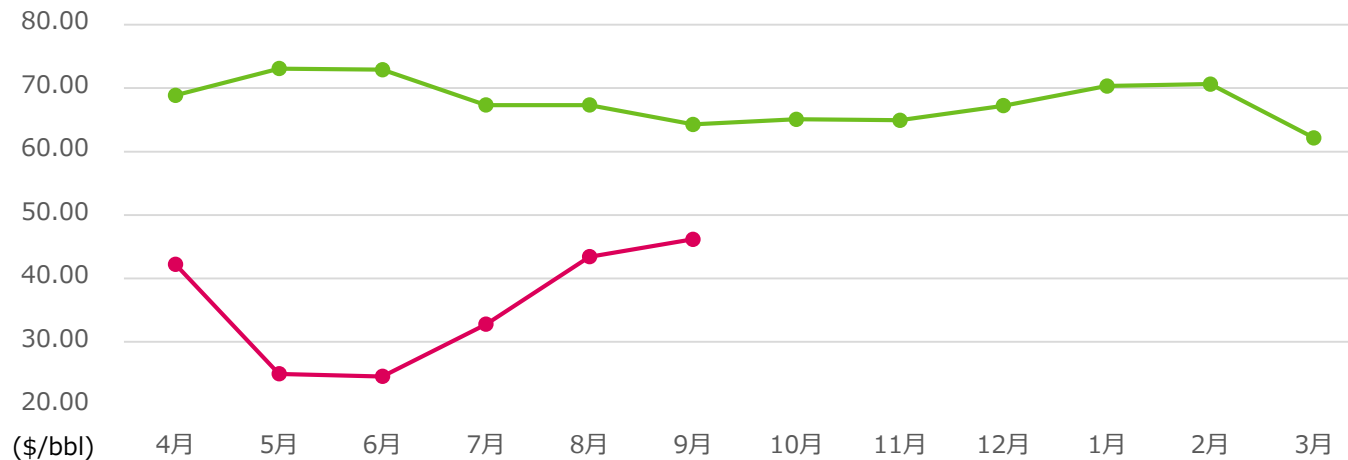
原油価格JCCが\$1/bbl上昇する場合

		収支影響時期		(単位: 億円)
		第3四半期	第4四半期	年度計
変 動 時 期	第3四半期	▲1	▲11	▲12
	第4四半期	—	▲1	▲1
	通期	▲1	▲12	▲13

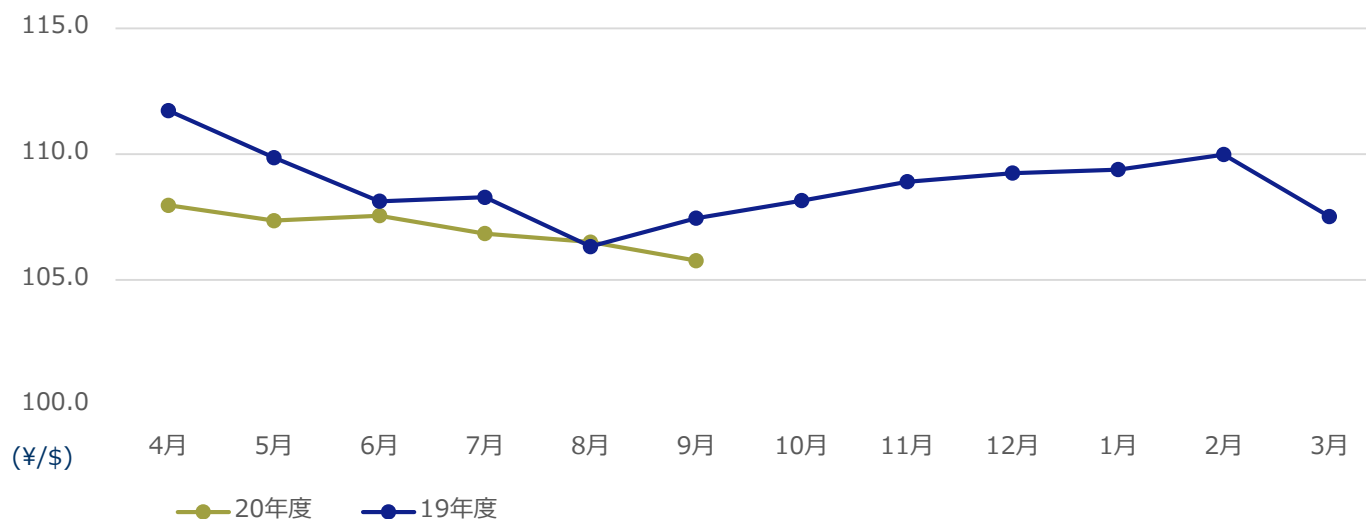
円ドルレートが¥1/\$円安になる場合

		収支影響時期		(単位: 億円)
		第3四半期	第4四半期	年度計
変 動 時 期	第3四半期	▲6	+4	▲2
	第4四半期	—	▲7	▲7
	通期	▲6	▲3	▲9

原油価格（JCC）



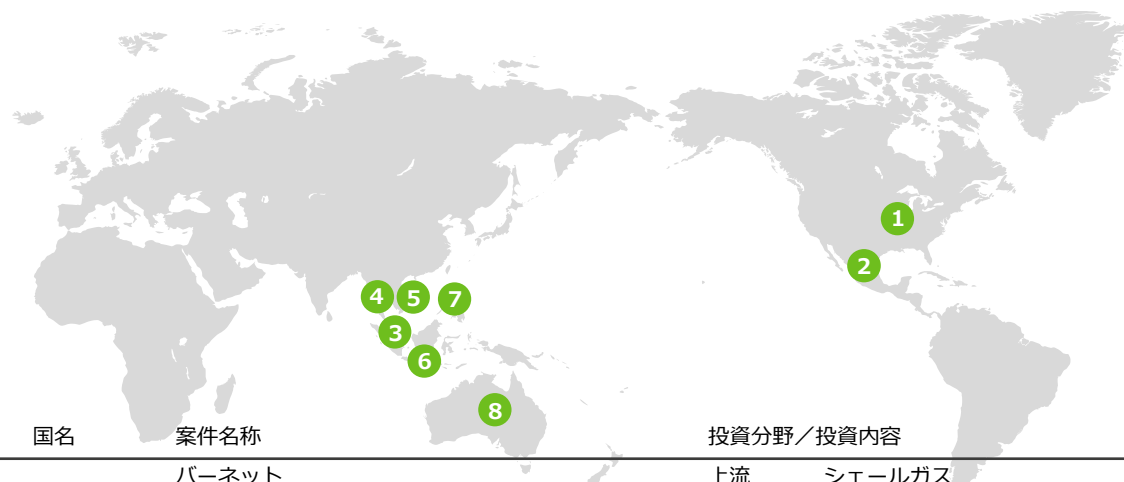
為替レート



ガス・電力 (ESG含む)	・太陽光発電無償提供サービス「ずっともソーラー×トヨタホーム」を開始(4/20) ・米国プリンシプル・パワー社への出資について～ウインドフロート技術による浮体式洋上風力発電事業の展開に向けて～(5/27) ・家庭用燃料電池「エネファーム」を活用したバーチャルパワープラント実証の開始について(6/1) ・東京ガス初となる「FIT非化石証書を用いた実質再生可能エネルギー電気」の取扱いを開始(7/2) ・富山県高岡市および千葉県市原市における木質バイオマス発電事業の取得について(8/26) ・LNGトレーディング新社の設立について(9/1) ・電力契約件数が250万件を突破！(9/3) ・『HUS ECO ZERO (ヒュース エコ ゼロ) ×ずっともソーラー』の提供を開始～家庭用燃料電池「エネファーム」との組合せなど、2つの太陽光発電サービスを併せて提供～(9/8) ・マンション・ビル向け太陽光エネルギーサービス「ヒナタオソーラー」の開始について(10/14)※1 ・Amazonギフト券が毎月もらえる、新電気料金プラン「もらえる電気」の申込受付を開始～関東エリア外における東京ガス初の低圧電気販売～(10/15) ・太陽光発電の余剰電力買取サービスの拡充について～蓄電池購入サポートプランとAmazonギフト券お支払いプランの提供を開始～(10/16)
サービス (ESG含む)	◆エンジニアリングソリューション ・「株式会社えきまちエナジークリエイト」の設立について(4/7) ・琉球エネルギーサービス合同会社の設立について(5/11)※2 ・鹿児島市交通局跡地再開発事業「キラメキテラス」における「スマートエネルギーネットワーク」によるエネルギーサービスの開始について～環境にやさしく、災害に強いエネルギー面的供給の開始について～(7/1)※2 ・宮崎市郡医師会病院へのエネルギーサービス開始について(7/1)※2 ・さいたま新都心地域冷暖房センターのリニューアル工事完了～年間約25%のCO2削減と停電時のレジリエンス機能強化を実現～(9/9)※2 ◆その他 ・東京ガスリビングエンジニアリング株式会社と東京ガスリモデリング株式会社の統合について(4/6)※3 ・東京ガス発ベンチャー スミレナ「暮らしの月額定額制サービス」を開始～スタートアップを中心とした企業4社と連携した「Rest HOME」キャンペーンを実施～(6/17)※4 ・～JR田町駅東口直結の大規模複合開発が完成～ msb Tamachi (ムスブ田町) 田町ステーションタワーNの竣工について(7/15)※5 ・LINE Payと東京ガス、払込書のペーパーレス化に向けた基本合意書を締結 業界初、ガス・電気料金等の請求からお客さまによる支払いまでLINE上で完結へ(9/10) ・「ガス機器スペシャルサポート」のメニューを拡充～「定額制」で安心！水まわり・電気設備修理サービスの提供を開始～(10/1) ・「虎ノ門二丁目地区第一種市街地再開発事業業務棟」新時代の国際ビジネス拠点に大規模オフィスプロジェクト始動(10/19)※5
海外 (ESG含む)	・米国における子会社の設立および大規模太陽光発電事業の取得について(7/29) ・米国ルイジアナ州における新たなガス田の権益の取得に伴う持分法適用関連会社(キャスルトン・リソース社)の連結子会社化について(7/29) ・フィリピン共和国における浮体式LNG基地建設および運営事業に関するファーストジェン社との相互協力契約の締結について(10/7)

- ※1 ヒナタオエナジーによるリリース
 ※2 東京ガスエンジニアリングソリューションズによるリリース
 ※3 東京ガスリビングエンジニアリングと東京ガスリモデリングによるリリース
 ※4 スミレナによるリリース
 ※5 東京ガス不動産によるリリース

ESG	・緊急事態宣言を踏まえた東京ガスグループの当面の取り組みについて(4/7) ・2020年 新型コロナウイルス感染拡大に伴うお客さまに対するガスならびに電気料金の特別措置の追加対応について(4/24) ・2020年 新型コロナウイルス感染拡大に伴うお客さまに対するガスならびに電気料金の特別措置の追加対応について(5/13) ・2020年 新型コロナウイルス感染拡大に伴うお客さまに対するガスならびに電気料金の特別措置の追加対応について(6/24) ・栃木県との「災害時における相互協力に関する基本協定」の締結について(7/3) ・2020年 新型コロナウイルス感染拡大に伴うお客さまに対するガスならびに電気料金の特別措置の追加対応について(7/20) ・ステークホルダーの皆さまへ～ 新型コロナウイルス感染拡大を踏まえたトップメッセージ～(7/29) ・2020年 新型コロナウイルス感染拡大に伴うお客さまに対するガスならびに電気料金の特別措置の追加対応について(8/6) ・「デジタルトランスフォーメーション銘柄2020」選定について(8/25) ・「東京ガスグループ サステナビリティレポート2020」の発行について(8/31) ・2020年 新型コロナウイルス感染拡大に伴うお客さまに対するガスならびに電気料金の特別措置の追加対応について(9/2) ・ホテル業界初となるカーボンニュートラル都市ガスの供給開始について(10/8) ・2020年 新型コロナウイルス感染拡大に伴うお客さまに対するガスならびに電気料金の特別措置の追加対応について(10/14) ・再生可能エネルギーと地域が共に発展していくことを目指して5社で「FOURE構想」の共同検討に合意しました(10/19)
財務・株主還元	・特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ(4/23) ・第58回、第59回、第60回、第61回無担保社債発行のお知らせ(5/22) ・第62回、第63回、第64回、第65回無担保社債発行のお知らせ(9/4) ・東京ガス初となるグリーンボンドの発行について(10/29)

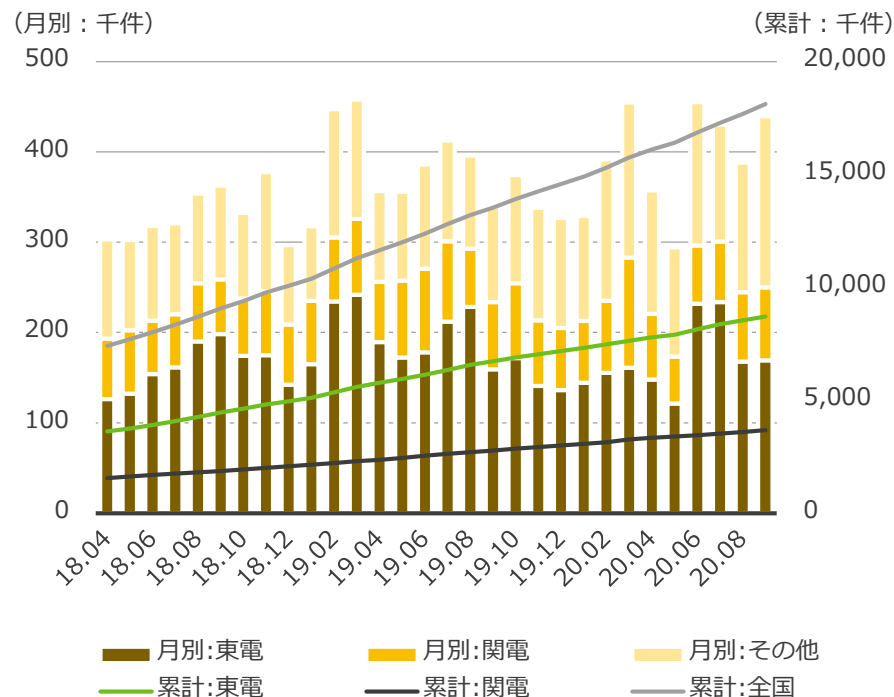


地域	番号	国名	案件名称	投資分野／投資内容	参加年
北米	①	米国	バーネット	上流 シェールガス	2013
			イーグルフォード	上流 シェールガス	2016
			東テキサス	上流 シェールガス	2017
			T G E Sアメリカ	中下流 エネルギーサービス	2015
			バーズボロー	中下流 天然ガス発電	2017
			アクティナ	中下流 太陽光発電	2020
			アカリオベンチャーズ	その他 オープンイノベーション	2017
	②	メキシコ	バヒオ	中下流 天然ガス発電	2004
			M Tファルコン	中下流 天然ガス発電	2010
			エオリオス・エンターヘー	中下流 再生可能エネルギー開発事業（太陽光・風力）	2019
東南アジア	③	マレーシア	ガスマレーシア	下流 都市ガス	1992
			ガスマレーシアエネルギーアドバンス	中下流 エネルギーサービス	2014
	④	タイ	バンボー	中下流 天然ガス発電	2016
			ガルフ・ダブルエイチエー・エムティー	中下流 ガス配給	2018
			ワン・バンコク	中下流 地域冷房・配電事業	2020
	⑤	ベトナム	ベトロベトナムガス販売	中下流 導管・C N G供給	2017
	⑥	インドネシア	パンジ・ラヤ・アラミンド	中下流 ガス配給・輸送	2017
オセアニア	⑦	フィリピン	FGEN LNG	下流 LNG基地建設、運営、メンテナンス	2020
	⑧	オーストラリア	ダーウィン	上流 天然ガス生産・液化・販売	2003
			ブルート	上流 天然ガス生産・液化・販売	2008
			ゴーゴン	上流 天然ガス生産・液化・販売	2009
			クイーンズランド・カーティス	上流 天然ガス生産・液化・販売	2011
			イクシス	上流 天然ガス生産・液化・販売	2012

スイッチング件数の推移(公表値) / 小売お客さま件数

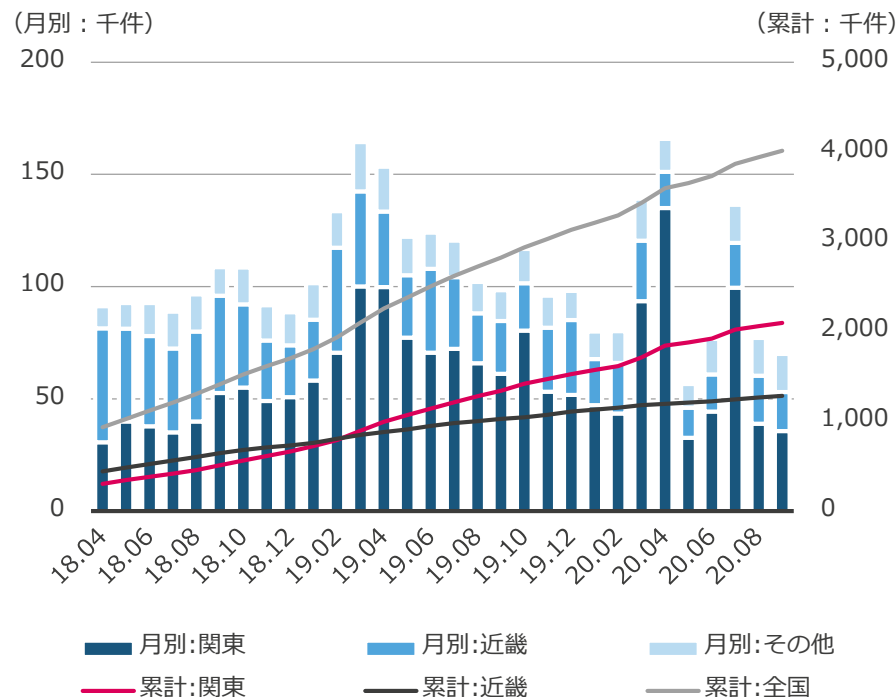
25

電力のスイッチング件数 (申込みベース)



※電力広域的運営推進機関の公表値に基づく

都市ガスのスイッチング件数 (申込みベース)



※資源エネルギー庁の公表値に基づく

当社 (連結) 都市ガス 小売お客さま件数 (万件)

小売全面自由化 (2017.4)

	2017.3	2017.6	2017.9	2017.12	2018.3	2018.6	2018.9	2018.12	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.03	2020.06	2020.09
件数 (増減)	1,026.9 (一)	1,031.4 (+4.5)	1,028.9 (▲2.5)	1,029.6 (+0.7)	1,020.9 (▲8.7)	1,018.9 (▲2.0)	1,008.9 (▲10.0)	998.2 (▲10.7)	982.1 (▲16.1)	960.7 (▲21.4)	940.5 (▲20.2)	925.9 (▲14.6)	912.9 (▲13.0)	904.4 (▲8.5)	897.5 (▲6.9)



<見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価格の動向、気温の変動、円ドルの為替レート変動、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガスの対応等があります。